

事務事業評価票 [市単独補助金] 平成 27 年度

		担当課	農林水産課				
基本事項	補助金(事業)名	雇用労力支援システム事業補助金			整理番号	1463	
	根拠法令等	島原市農林水産業振興事業補助金交付要綱		実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし		
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第5章 「農漁商観」が融合した活力ある産業をつくる	予算科目	6 款 1 項 3 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規		
		節 第1節 農林業の振興	区分	奨励・助成			
事業概要等	補助金交付の対象(団体名等)	島原雲仙農業協同組合			実施期間	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 24 年度から <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 29 年度まで	
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など	農家人口の減少、農業従事者の高齢化、後継者不足などにより、経営体内での労力確保が難しくなっており、経営規模の維持・拡大に対して雇用労力への依存度が高まってきている。 このような中で、農作業に必要な労力を安定的に確保できるシステムづくりが課題となっている。					
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	担い手農家の規模拡大等に必要な労力を安定的に確保し強い経営体の育成を図るため、労力支援システムを構築する。					
	補助金交付内容等 (積算基礎等)	農作業労力支援システムの強化に対して支援する。 ・労力支援システムの経費から収入(利用料+県補助金)を引いた金額の1/2を3市で補助する。 ・3市の補助割合は、農援隊の人数割とする。					
事業費等の推移	年度		23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
	区分		実績	実績	実績	実績	予算額
	補助金交付額(千円)			4,253	6,864	5,814	6,864
	① 団体等事業費(千円)			4,253	97,617	95,323	116,630
	② 歳入内訳(千円)	会費等		0	71,910	73,465	92,928
		前年度繰越金		0	0	0	0
		市補助金		4,253	6,864	5,814	6,864
		その他の助成金			18,843	16,044	16,838
次年度繰越金(②-①)		0	0	0	0	-	
26年度の当該団体等の事業費の主な内訳(市補助金が充当されていると思われるものから順に記載) (単位:千円)							
項 目			金 額	項 目			金 額
賃金			81,115				
リース料			6,629				
燃料費			1,935				
小農具費			102				
健康診断費			117				
調査研究費			345				
作業衣料費			33				
事務費等			5,047				
補助金の使途についての特記事項等							

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析		
視 点	現 状 分 析	説 明
① 助 成 事 業 の 効 果	<input checked="" type="radio"/> 意図した効果があがっている <input type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない <input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	担い手農家の規模拡大等に必要労働力を安定的に確保することにより、強い経営体の育成と産地の維持・拡大につながっている。
② 市 の 関 与 の 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	
③ 団 体 の 事 業 内 容 や 助 成 の 在 り 方 等 の 見 直 し 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 見直しの必要はない <input type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	継続性のある労力支援システムを構築するため、今後も半島3市が連携し支援を行っていくこととなった。また、農援隊の需用が少ない夏場の雇用対策として夏場に収穫できる作物の導入を推進するなど、農援隊の利用率向上に努められている。農援隊を定着化させるためには、見直しの必要はないと思われる。
○総合評価と今後の方向性		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 総 合 評 価 </div>	判定 <input checked="" type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> B4 その他の見直し 休止・廃止の具体的な方向性 <input type="radio"/> C 休止(隔年実施など) → () <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定も含む) → ()	
	判定理由 農業従事者の高齢化、後継者不足が進んでくるなかで、農作業に必要な労働力を安定的に確保できるシステムづくりが大きな課題となっており、本市農業の維持・強化を図るためには継続して支援することが必要である。また、平成29年度以降の対応については、成果等を踏まえ関係機関(県、半島3市、農協)と検討を行っていくこととしている。	
今後の課題と見直しの方向性 (総合評価判定がB1~B4の場合)	課 題 見直しの方向性	

◎2次評価

判定	B4見直しのうえで実施 → その他の見直し ▼
備考	今後、事業を安定的に継続していくには、現行、比較的に雇用機会の少ない夏場の利用を促進を図ることが必要と考える。市の財政負担を軽減するためにも、夏場の利用促進に向けた方策を早期に具現化し、利用料の増加を図っていただきたい。

◎3次評価

判定	▼
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況 (☑)		
<input type="checkbox"/> 補助額の削減 <input type="checkbox"/> 補助額の増加 <input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ⇒ 予算措置額の増減 0千円		
備考		

(雇用労働力支援システム事業補助金)